

不注意のその一瞬が命とる

交通戦争はもうイヤ

ウーウーウー 救急車が走る。
このサイレンの音を聞かぬ日がなくなったきょうこのごろです。
交通戦争…憲法で戦争を放棄した平和日本に、今、こんな形の戦争が私たちの平和を奪い、社会の秩序を破壊するようになっていきました。
1日平均20件の事故が県内どこかで必ず起こり、0.6人が死に17人がけがをしている最近の交通情勢です。
そして、その勢いはほとんど上昇するばかり…しかも本県は全国的な事故多発県でもあるのです。なぜ、こんなに事故が多いのでしょうか。

すべての力あわせて

交通事故を少なくするためには通行者がお互いにルールを守り、安全交通を徹底することがいちばん大切です。

同時に、道路を整備したり、信号やガードレールを備えつけるなど交通施設を整備することの重要なことは言うまでもありません。

本年度の県公安委員会における交通安全施設予算

道路標識	306万円
道路標示	600万円
信号機設置	1500万円
修繕費	70万円
合計	2476万円

3年計画で施設整備
以上の本年度予算2476万円のほかに、新しく3年計画で実施することになった交通安全施設整備事業が、ことしから行なわれます。

和歌山市内の3カ所の歩道橋や県下各地の交差点改良、バス停車帯、道路照明、ガードレールなどが6550万円で開催されることになっています。なお、来年度は9700万円、3年間に3億

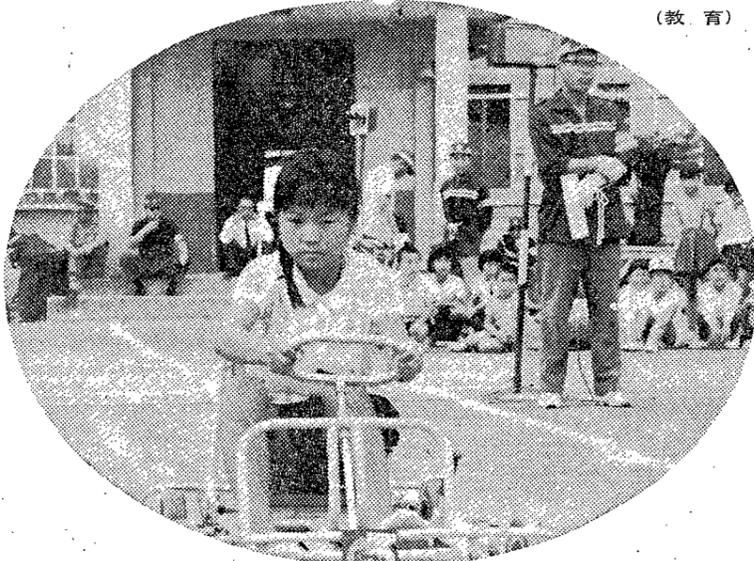
ゼロの悲願こめて

交通事故「ゼロ」を目ざして秋の交通安全運動が10月11日～20日まで全県にくりひろげられます。ことしの重点目標は、

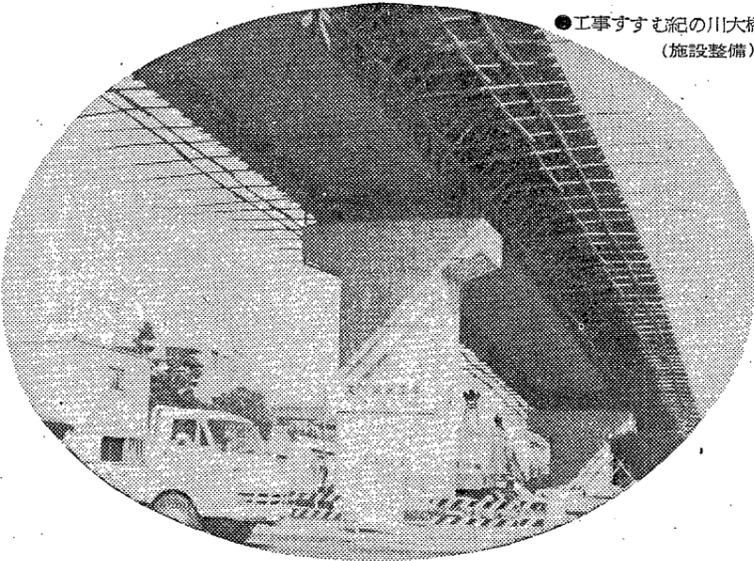
- 無免許、酒よみ、暴走運転などの追放
- 歩行者の正しい横断
- 踏切の安全確保
- 自転車、自動二輪車の安全運転
- 自動車の正しい運行
- 車両の完全な整備
- 道路環境の整備
- 事故被害者の相談

で、関係機関、団体では、それぞれの立場からこの運動を盛り上げることにしています。

●ルールを学ぶ子どもたち (教育)



●工事すむ紀の川大橋 (施設整備)



●手をあげて横断歩行 (指導・取り締り)



自動車がまちにふえたこともひとつの原因です。観光ドライバーの出入りが激しいこともひとつの原因でしょう。

しかし、そればかりではありません。なんと言っても交通ルールを守らない人が多いこと、それが最大の原因なのです。

その点、和歌山県民は他府県以上に「交通道徳」の観念がウスイ、ということにならないでしょうか。

このままでは交通戦争は、ますますエスカレーションするばかりです。

どうすれば事故を未然に防ぎ、道を安心して通れるようになるのでしょうか。

3060万円がこの整備事業にあてられます。

あらゆる力を動員して

また本県の警察官約1200人の6割が、なんらかの形で交通安全のための取り締りや指導にあっています。

また、県民の中から選ばれ、ご苦労を願っている2782人の交通指導員の方々が、身をもって地区の指導にあっているのです。

学校では、交通安全指導計画をたて、高校ではホームルームで、中小学校では特別教育活動で月1回1時間を準正科として教育しています。

県では、交通事故をなくする県民運動推進協議会を置き、関係各機関参加のもとに、春秋の交通安全運動、子供を交通事故から守る運動、飲酒運転追放運動などの県民運動を展開しているのです。

そして県のこのような対策に呼応して民間でも、「危険な通学道路をなくす運動」を提唱、子供たちを交通事故からまもるため熱心な活動を展開しております。

こうして、いまや全県あげて交通事故をなくそうと努力をつづけているのです。

きょうもまた県内のどこかで交通事故が起っています。

ちょっとした不注意から一家の破滅につながる不幸がやってくるのです。

秋の交通安全運動を機会に、夕食のあとの団らんの中で交通安全について話し合ってください。

みなさん一人一人の注意が、交通事故「ゼロ」のただ一つのカギなのです。

◎不注意のその一瞬が命とる

この標語は県交通安全をなくする県民運動推進協議会が募集したなかの入選作。新宮市緑丘中学校大和田佳代子さんの作

第2期(10月～12月) ●10月10日スポーツの日 ●みな持とう強い体力、強い意志

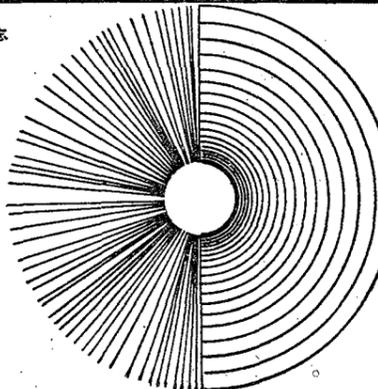
スポーツ教室受講生募集中!!

青少年 種目・卓球・バドミントン・バレー/対象・勤労青少年・中高大学生男女/実施日・毎週月曜日・午後6時～7時30分(但しバレーのみ10月6日～12月22日・毎週木曜日・午後6時～7時30分)

少年少女 種目・体操/対象・小学校4年以上及び中学校生徒男女/実施日・10月4日～12月20日・毎週火曜日・午後5時30分～7時

婦人 種目・美容体操・レクリエーション/対象・18才以上の婦人/実施日は(少年少女)と同じ

みなさんの健康を保ち増進するために、ふるって参加しましょう。はじめての方を歓迎します。
申込先/県立体育館(市内向之芝) TEL (22) 4108
●受講料/無料
詳細は体育館へお問い合わせください
主催/和歌山県教育委員会
後援/和歌山市教育委員会/和歌山県体育協会



共販で伸びる農協 明るい農家

●果実の出荷は共同販売で
農業協同組合/和歌山県果実農協連

いて…と「知事を囲む県政懇談会」がこのほど県下
 目的として、市町村の代表者とひざを交え、じっくり
 された在任期間中にその意見を県議に相談しなが
 りのです。
 「長会、議長会でご意見を聞く機会がありますが、
 中で、細部にわたって話し合いすることができませ
 りの事情を聞き、九月県議に追加予算として提案で
 きて、各地を回っています…」
 「の代表者から熱のこもった要望が出され、それに
 りがなされていきました。
 問題や手近なことなど、問題百出、全部で三百数十
 百額など、九月補正予算をねらった事柄が多く出さ
 るにつけられることについては、その場ですぐさま
 とスピーディーに解決し、将来に残される大きい
 りはむづかしいが、必ず努力しよう」などと、は
 ちました。この懇談会の結果は、ただちに事務処
 理がすすめられています。
 りて紹介してみましよう。

の声をあつめて

県政のために



知事「振興に全力かける」

山村の要望切実、道路など
 知事「振興に全力かける」
 有田川の堤防
 吉野川上
 中島、長
 田、庄地区
 の左岸、有
 田市の奥谷
 地区の右岸
 にたいして早急な堤防改修工事を美
 麗に仕上げたいと要望されました。
 以上三箇所の共同事業のほか、各
 市町のおもな要望を紹介し、ま
 もお話しをします。

10月17日は
 貯蓄の日
 明るい社会を育てる貯蓄

公安委員会指定
県自動車学校
 スクールバスで送迎
 普通本科(昼間) 10月12日 (夜間) 10月24日
 入校日 11月1日 11月12日
 速成科随時入校(2輪免許以上)
 所在地 和歌山市園部(試験場隣)電話(有功局)160・161

和歌山市内に二幹線道路
海南では42号線バイパス
 各市町を道路と都市計画に
 ついての要望が高まり、持参した天
 きい地図を指して説明する姿が見
 られました。
 和歌山市では都市計画がボイン
 下で、なかも和歌川の埋立てと
 市内の南北・東西幹線道路の早期
 完成について、計画が力説されま
 した。
 海南市からは、市発展のため
 開発公社を設立したい、冷水地区
 の埋立てに県の協力を、なごの
 問題とともに、国道四十二号線の
 バイパスを海がわに通うことにつ
 いて海の部分を進めたいが、
 許可してほしいと要望があ
 り、知事は「積極的に協力しよ
 う」と約束、新入市長一人を大
 に励ました。

出先機関の一本化を
 世はまに広域行政の時代、国
 道十四号線と二幹線道路と
 し、紀の川の両岸にひびく紀伊
 平野の発展を、紀の川地域の
 一本化を、県出先機関の結
 合をはかるといいます。
 この問題は、粉河町の発言で、
 知事の積極的な承認も、
 両市の市町村長への活発な意見
 を呼びよせました。事務所を
 こころみは後の問題として、両
 郡出立者の意見で事務所の本格
 が強く要望されました。
 奥で、その本格的な調査
 のり出さなければならぬ。

奥有田発展に幹線整備
尾岩坂峠のトンネル工事など
 有田川流域にひびく有田地方
 には、最初に、開墾地のある金屋
 町長から
 野への道も便利になり、主要産業
 道路としての使命もまたいやが上
 の整備を
 にも進められるのです。
 また、これとともに国道三百額
 以下津木線の早期完成についても
 要望されました。
 これは日高郡川辺町と有田郡
 川町の境界にある雲川峠(千三百
 び)にトンネルを二つの時間五分
 奥日高から和歌山への時間を五分
 の一も短縮されるという環境をこ
 えた待望の工事です。
 この二つについては、いずれも
 本格的な調査を約束されました。

男子社員急募
 選考 職種 資格
 当社で毎日 コークス炉 18~30才
 午前中受付 運転 独身寮完備
 (交通費支給)
 ※各職安でも定期的な選考を行なっています
 詳細はよりの職安、または当社まで
和歌山化学工業(株)
 和歌山市湊1850(住友金属構内) 電話(55)0281 労務課

広域行政に即応して

橋本市・伊都郡・那賀郡

奥地開発に県道整備を
 野上・美里町からは奥地開発
 につながる県道の整備が要望さ
 れました。
 野上町からは、奥地開発に野上
 線三田一生活口停車場、赤坂一
 野上線、奥谷一坂井停車場、
 美里町からは、海南・高野線、
 赤坂一野上線、美里一由良線の
 改修が要望され、知事は「はげ
 りなさい」と積極的に実施してい
 ました。そのためには用地、住宅
 移転など地味に解決してもらわ
 なければなりません。

注視のま
畑かんの早期完成
 みかんづくりの有田の期待をあ
 り、本年八月から着工された有
 田川畑かんの事業は、五年計
 画で工事が進められる予定とな
 っていますが、これをきまれば三
 年くらいで完成させてほしいと
 う要望が、郡市共通の事項とし
 て出され、これに対し、知事は
 「一二年の間に期待をせざるや
 り努力を」と
 と同様。

有田川
 の堤防
 吉野川上
 中島、長
 田、庄地区
 の左岸、有
 田市の奥谷
 地区の右岸
 にたいして早急な堤防改修工事を美
 麗に仕上げたいと要望されました。
 以上三箇所の共同事業のほか、各
 市町のおもな要望を紹介し、ま
 もお話しをします。

